

令和5年度第2回住吉区区政会議での意見等一覧

○協議事項

住吉区将来ビジョン2028(素案)にかかる意見聴取について

～ビジョン(素案)への意見と回答～

| 項目 | 委員名 | 意見等の内容 | 区の回答・考え方 |
|--------|------|---|---|
| 全体について | 梶野委員 | ・第1回で出た「“住吉区らしさ”が無い」という意見への対応が、「はじめに」の中にビジョンの全体の趣旨として、歴史・文化について触れた内容を掲載する」というものであったが、将来ビジョン2023では4本の柱の一つに設定されていた歴史・文化が新ビジョンでは柱に入っていないとなると、やはり軽視されているという感覚は拭えない。 | (区長) 内部での検討の結果、歴史・文化については将来ビジョン2028における4本の全ての柱に共通するものであり、ベースになるものと判断した。そのため、柱の1つには立てず、ビジョン全体の考え方として「はじめに」に示し、住吉区のこれまでの取組を基にさらに発展させていくという書き方とした。 この間に取り組んできた住吉区らしい様々な取組については、将来ビジョンに沿って今後具体的な取組を進めていく中で、今回頂いたご意見も踏まえ、推進していきたいと考えている。 |
| | 辻野委員 | ・将来ビジョンの大枠の方針は合意が得られていると思う。これから施策を具体化していく中で、今回出た課題をできるだけ反映していただきたい。 | |
| 柱1について | 梶野委員 | ・歴史的、文化的資源や住吉区の特徴という点については、運営方針を策定する際に、例えば「② 地域ごとの特色ある活動の展開」や「③ 多様な団体・企業等との協働」といった項目の中で具体的な目標を設定していただきたい。 | (区長) 歴史・文化については、数値による評価をすべきものではないと考えており、地域資源の活用ということで、具体的な取組の中で進めていきたいと考えている。 |
| | 辻野委員 | ・歴史・文化について、「はじめに」に入れ込むことで、最も重要な要素であることを確認していると思う。ただ、それが伝わりにくいところがあったとも思うため、引き続き改善できるところは改善していく方向でどうか。 | |
| | 梶野委員 | ・「③ 多様な団体・企業等との協働」と「④ 公共と民間との協働」の内容について、表現を多少変えているだけにしか思えず、それぞれの項目の違いがわからない。あえてここを強調するということは、区役所側が重視している項目という理解でよろしいか。 | |
| 交通について | 佃井委員 | ・住吉区は東西の交通の利便性が悪いため、病院までの交通手段の確保に困っているというような声を聞くことも多い。その辺りについてよく考えてもらえたらと思う。 | (区長) オンデマンドバスについては、大阪市内でも現在4区で社会実験が実施されており、その取組の総括後に全市展開するかという検討に入ると聞いている。区内の状況も踏まえ、交通の便の確保については検討を進めていきたいと考えているため、またご意見を頂戴したい。 |
| | 和田委員 | ・地域の会議の中でも、バスが無い、病院・買い物に行けないといった言葉が頻繁に出てきている状況である。若い人はインターネット等で検索して分かる事でも、部屋に閉じこもって孤立している高齢者には難しいため、交通面については今後も検討していただけるとありがたい。 | |

～ビジョン(素案)への感想～

| 項目 | 委員名 | 感想の内容 |
|--------|-------|--|
| 全体について | 山本委員 | <p>・すごく良い「はじめに」とビジョンだと思う。「幅広い世代・分野の住民が自分事として」、「持続的な地域活動が行われる豊かな地域コミュニティ」、「誰もが生きやすい社会」というような言葉が入っている将来ビジョンを掲げる街で子どもを育てていけるというのは非常にありがたいことだと思う。</p> <p>・表紙のデザインを大学生にお願いするところが非常に楽しみ。チラシをはじめ、この将来ビジョンも見た目やデザインから判断される部分が一定あると思う。これまでも課題に挙がってきた若い層へのアプローチという点で、従来とは異なる手法でデザインに凝るといのは非常にいいことだと思う。</p> |
| | 谷山委員 | <p>・ひとつひとつの細かい意見を拾って冊子にさせていただいていることに驚いた。自分ができることを一生懸命やっていきたいと思う。</p> |
| | 濱本委員 | <p>・前回議論した内容を全て反映していただいてすごく驚いた。小さい意見だが拾ってもらえるとありがたい。</p> |
| | 東委員 | <p>・全体を見ると、地域、関係機関、協働、連携、支援といった文言が散らばっているなという印象を受ける。今後、行政は地域や関係機関との懸け橋的な役割が求められると思うため、その辺りを意識した具体的な取組を考えていただきたい。</p> |
| | 中野委員 | <p>・「② 地域ごとの特色ある活動の展開」について、若い担い手に地域活動に参画してもらうために具体的にどうしていくべきか、非常に難しい問題だと思う。いい案があれば教えていただきたい。</p> |
| 柱1について | 菅原委員 | <p>・「③ 多様な団体・企業等との協働」について、どこかの地域でモデルプランを実施してもいいのではないかと。実際に行うことでメリット、デメリット等含め様々な意見が出ると思うため、それを通じてまた検討していくというのも手ではないか。言葉だけでなく、具体的なものがあると我々もわかりやすい。</p> |
| | 田中委員 | <p>・行政と協力しようという意向のある団体はたくさんあるが、区役所が任意団体の事務に携わることができなくなり、行政との協力関係の外に出されているようで少し残念な気持ちがある。</p> |
| | 荻野委員 | <p>・地域のつながりについて、若い世代の参加促進のため、20代、30代のいわゆるユース世代が入りやすく、活躍できるような団体があればいいのではないかと。</p> <p>・今後10年、20年経てば町内会に加入する人は今よりもっと減っていると思う。メリットがないと入らない。暴論かもしれないが、もう町内会費というシステムをやめてしまって、町内会に補助金をおろして、町内会に入った人だけがその恩恵を受けられるようにしたらいいのではないかと。</p> |
| | 桶土井委員 | <p>・来年開催のすみよし文化フェスティバルの会議に参加した際に、物価高の影響で予算が足らず、昨年度よりブースを減らそうかという案が出ていた。折角の地域のつながりの場のため、区役所等から予算に補助を行う等、融通が利くようにしてほしい。</p> |
| | 鍛冶本委員 | <p>・地域の様々な課題に取り組んでいかなければならないが、担い手不足のため、一人にかかる負担が大きい状況にある。どうすれば若い人たちが地域を良くしようという思いを持って活動に取り組んでいただけるかということが、一番の課題になるのかなと思う。</p> |
| | 繁田委員 | <p>・地域活動協議会や町会の年齢差の問題があり、将来ビジョンを掲げてはいただいているが、具体的のどのようしていけばいいのかは行政も我々も現場を見て、より効果的なことができたらいいなと思う。</p> |
| | 渡邊委員 | <p>・住吉区12地域にそれぞれの地域特性、課題があるため、連携していくということも大切だが、関係する団体や個人を含め、地域ごとに細かく見ていくことが重要だと思う。</p> |
| | 浜田委員 | <p>・「④ 防犯・交通安全の取組」について、やはり生活の根底は安全に生活できることだと思うため、防犯の具体的取組について議論を深めていきたい。</p> |
| 柱2について | 福留委員 | <p>・区民意識調査の「問4 今後も継続して住吉区に居住したいと思う理由は何ですか。」にて、「居住したい」と回答した理由の「福祉が充実しているから」が4.2%、「引越したい」と回答した理由の「福祉が充実していないから」が2.3%と、どちらもとても低い割合である。これを見たときに、福祉施設として、私たち自身知られていないことが多いと感じるし、私たちが取り組まないといけない課題でもあるなと思う。連絡会等で議論していきたいため、課題があれば投げてください。</p> |
| | 鍛冶本委員 | <p>子どもたちが公園でボール遊びをしているだけで悪い子のイメージを付けられてしまい、それが嫌で、団体が公園を渡り歩いている光景をよく目にする。共働きの家庭が増えている中、子どもたちがもっと伸び伸びと体を動かして遊べる場が必要。</p> |